



ほけんだより

～すくすくげんき～



尿検査のお知らせ

- ・2月2日と3日に幼児クラス対象で尿検査を行います。玄関ホールの棚に提出をお願いします。容器と説明用紙は2月1日に配布いたします。朝一番の尿を提出していただきたいので朝お子さまと一緒にトイレに行き、検体を採取するようにお願いいたします。
- ・検尿の目的は、子どもの腎疾患を早期に発見して早期治療することにより腎不全（腎臓の働きを失った状態）への進行を防ぐこと、日常生活の質（QOL）の改善を図ることです。子供における尿異常は尿検査をきっかけとして発見されることが多く、子供の腎疾患の早期発見の手掛かりとなっています。検査の結果は健康ノートで月末にお知らせしますが、検査結果で陽性の場合再検査のお願いをさせていただきますので、個別に説明させていただきます。



花粉症について

2月～3月頃はスギ花粉が多く飛散します。スギ花粉にアレルギーのある場合は、早めの対策を行いましょう。また、この季節は、風邪をひいている子供も多くみられます。鼻水が頻繁に出ている時には、花粉症なのか風邪なのかの判断がつきにくいということもあるかもしれません。違いについてもきちんと知っておきましょう。

風邪と花粉症の違いは？

チェックしてみよう

水っぽい鼻水が頻繁に出る 顔などのかゆみがある

くしゃみが何回も出る 発熱はない

目のかゆみや充血がある

上記のような症状がみられる場合には花粉症を疑います。小児科や耳鼻科を受診しましょう。発熱がある場合には、風邪が考えられるので、医師にはその旨を伝えましょう。また、黄色やみどりの鼻水が長い期間出る場合には、風邪の鼻炎から急性副鼻腔炎を経て、慢性副鼻腔炎（蓄膿症）になっていることがありますので、注意しましょう。



1月の感染状況

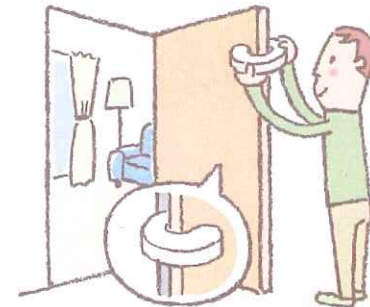
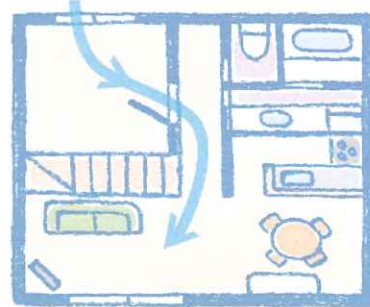
・胃腸炎（下痢・嘔吐） … 27名

・新型コロナウイルス感染症 … 4名



どうする エアコンを使っているときの換気

エアコンを使っている部屋の換気は、夏は熱い外気、冬は冷たい外気が入って室温が変わるので、あまり積極的にやりたくないものです。室温が急に変らないように、ほかの部屋を通した2段階換気がお勧めです。



① 離れた部屋の窓を開ける

エアコンからできるだけ離れた部屋の窓を開けます。廊下などを通る間に、外気温と室温の差が少なくなります。

② エアコンのついている部屋のドアを少し開けておく

ドアストッパーなどを使ってドアを少し開け、空気の通り道を作ります。

③ エアコンのついている部屋の窓を少し開ける

風を入れるために窓を開けます。



気をつけて!



家電による事故を防ぎましょう



家電製品で思わぬケガをすることがあります。

よく使うものだからこそ、子どもに「ダメ」と言わずに済むよう工夫しましょう。

熱くなるもの、熱気が出るもの

- 炊飯器 電気ポット
- 電気ケトル アイロン
- スチーム式加湿器 など

熱湯が出るもの

- 電気ポット 電気ケトル
- ウォーターサーバーの給湯口 など

子どもが入れるもの

洗濯機

ドラム式洗濯機では子どもが入って出られなくなる事故がありました。縦型洗濯機では、のぞき込んだ子どもが落ちるおそれがあります。

対策①

子どもの手の届かないところに置く
危険な家電は、子どもの手の届かない安全な場所に置きましょう。コードを引っ張って、熱くなった家電が落下する事故も多いので気をつけて。

対策②

チャイルドロックを活用して
チャイルドロック機能があるものはぜひ活用しましょう。解除のひと手間はありますが、「ダメ!」と言う必要がなくなります。